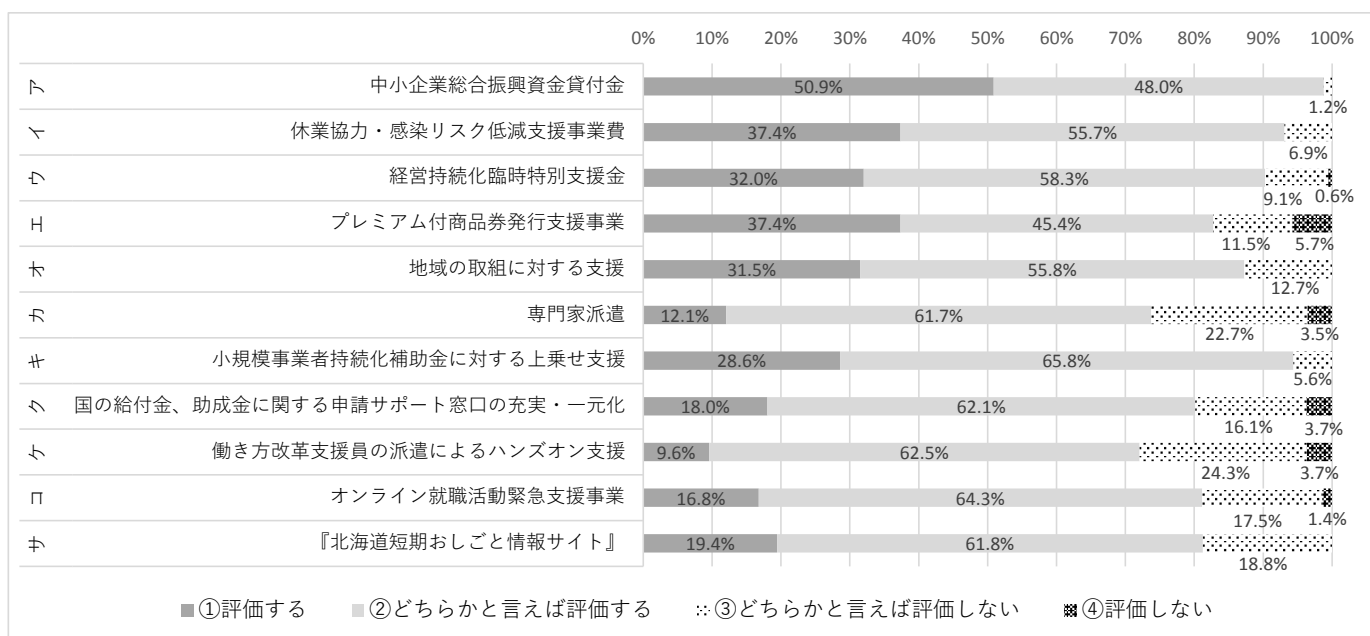


4. 道が実施した以下の施策について、評価を選んでください。

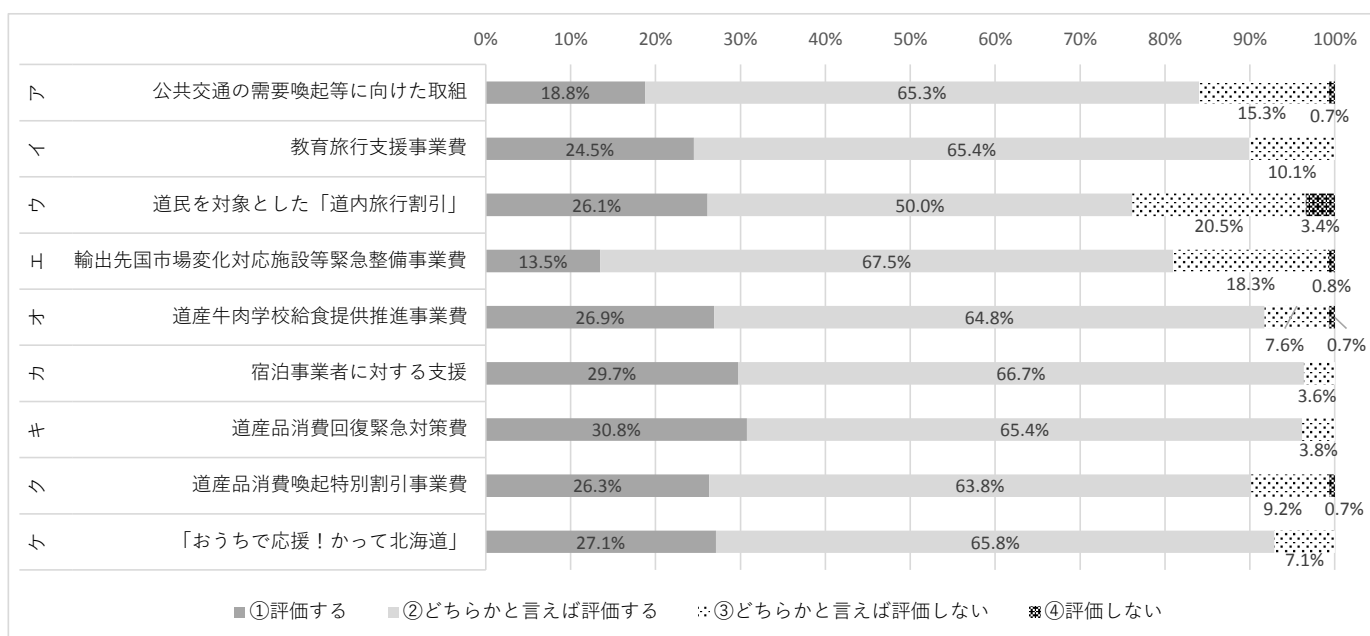
(1) 業種共通施策

		①	②	③	④	回答総数	無回答
ア	中小企業総合振興資金貸付金	87	82	2	0	171	8
イ	休業協力・感染リスク低減支援事業費	65	97	12	0	174	5
ウ	経営持続化臨時特別支援金	56	102	16	1	175	4
エ	プレミアム付商品券発行支援事業	65	79	20	10	174	5
オ	地域の取組に対する支援	52	92	21	0	165	14
カ	専門家派遣	17	87	32	5	141	38
キ	小規模事業者持続化補助金に対する上乗せ支援	46	106	9	0	161	18
ク	国の給付金、助成金に関する申請サポート窓口の充実・一元化	29	100	26	6	161	18
ケ	働き方改革支援員の派遣によるハンズオン支援	13	85	33	5	136	43
コ	オンライン就職活動緊急支援事業	24	92	25	2	143	36
サ	『北海道短期おしごと情報サイト』	28	89	27	0	144	35



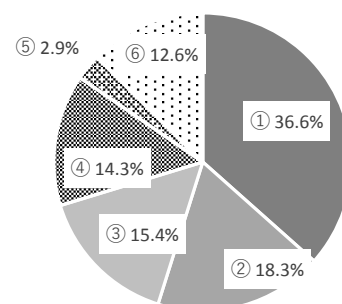
## (2) 業種別施策

		①	②	③	④	回答総数	無回答
ア	公共交通の需要喚起等に向けた取組	27	94	22	1	144	35
イ	教育旅行支援事業費	39	104	16	0	159	20
ウ	道民を対象とした「道内旅行割引」	46	88	36	6	176	3
エ	輸出先国市場変化対応施設等緊急整備事業費	17	85	23	1	126	53
オ	道産牛肉学校給食提供推進事業費	39	94	11	1	145	34
カ	宿泊事業者に対する支援	49	110	6	0	165	14
キ	道産品消費回復緊急対策費	48	102	6	0	156	23
ク	道産品消費喚起特別割引事業費	40	97	14	1	152	27
ケ	「おうちで応援！かって北海道」	42	102	11	0	155	24



5. 今後、対策を行うにあたって、どのような対策に重点を置くべきと考えますか。

		回答数	割合
①	中小・小規模事業者の事業継続・雇用維持に向けた支援（制度融資の条件の拡充、保証料軽減、実質無利子化措置など）	64	36.6%
②	地域や事業者が取り組む感染防止対策の後押し（交通・宿泊・エンタメ業界の感染拡大防止の取組への支援、商店街における感染防止対策など）	32	18.3%
③	休業等の要請に協力いただき、感染リスクを低減する取組を行う事業者への支援金（休業協力・感染リスク低減支援金（第1弾）、経営持続化臨時特別支援金（第2弾））	27	15.4%
④	域内の交流・消費循環を通じた地域・経済の活性化（どうみん割、プレミアム商品券など）	25	14.3%
⑤	各種施策の相談・サポート体制（経営・金融、雇用関連相談窓口、持続化給付金・雇用調整助成金申請サポート窓口など）	5	2.9%
⑥	その他	22	12.6%



回答総数 175  
無回答 4

【「⑥その他」の主な内容】

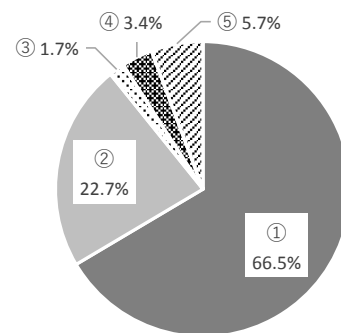
- ・全ての対策もしくは複数の対策が重要
- ・どれか一つに重点を置くということではなく、感染拡大防止の取組を行いながら、社会経済活動を回す取組をバランス良く実施することが重要
- ・市町村が経営する施設への支援策
- ・第1次産業に対する支援
- ・重症患者の受入体制に地域差が出ないように管内外の医療連携体制の構築が必要
- ・交通事業者への支援は、事業者の多くが9月決算のことから、国に横並びの補助ではなく北海道としての支援を考えるべき

(iii) 教育・生活分野に係る対応の評価

1. 「教育・生活分野」に係る緊急対策について、どのようにお考えですか。

		回答数	割合
①	十分対応している	117	66.5%
②	事業（対策）の内容に改善すべき点がある	40	22.7%
③	事業量が不十分である	3	1.7%
④	事業内容、事業量ともに不十分な点がある	6	3.4%
⑤	その他	10	5.7%

回答総数 176  
無回答 3



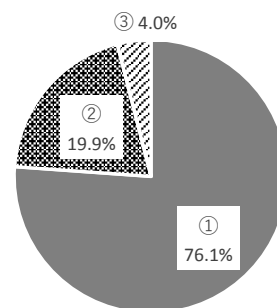
【②～⑤と回答した市町村の主な意見】

- ・学校のオンライン学習の実施などICTを活用した取り組みを進めるにあたり、教育現場へのサポートが不足
- ・学校での感染対策に係る支援を拡充すべき
- ・小中学校向けの支援策のうち、学習指導員の配置やスクール・サポート・スタッフ等の追加配置などは人材の確保を含めて対応してほしい
- ・休校による影響で、仕事を休まざるを得ず減収した世帯への適切なタイミングでの支援が必要だった
- ・就職や進学を間近に控えている学生への不安解消に向けた支援策を検討すべき
- ・道立学校中心の対策で、市町村立学校にかかわる対策が必要

2. それぞれの対策を実施するにあたって、貴市町村・貴団体との情報共有・連携に関する対応について、どのようにお考えですか。

		回答数	割合
①	連携がとれている	134	76.1%
②	不十分な点がある	35	19.9%
③	その他	7	4.0%

回答総数 176  
無回答 3



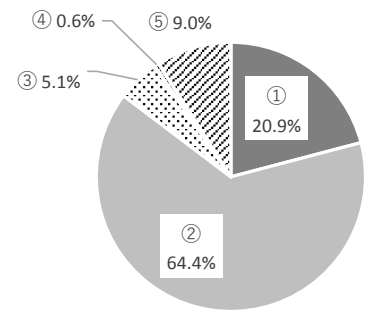
【②、③と回答した市町村の主な意見】

- ・制度の内容等必要な情報が不足していた。市町村と十分な情報共有を図るべき
- ・情報共有に関しては、報道先行の傾向。速やかな情報提供をお願いしたい
- ・学校の休業要請と減収世帯への対応等パッケージでの対応が必要
- ・GIGAスクール構想において、端末の購入体制の統一がなされずに混乱を招いた
- ・道の施策を講じる際に市長会や町村会などを通じて市町村の意見を聞く場があれば良かった

3. これまでに実施している教育・生活分野に係る対策全体のスピード感について評価をお聞かせください。

		回答数	割合
①	評価する	37	20.9%
②	どちらかと言えば評価する	114	64.4%
③	どちらかと言えば評価しない	9	5.1%
④	評価しない	1	0.6%
⑤	どちらとも言えない	16	9.0%

回答総数 177  
無回答 2



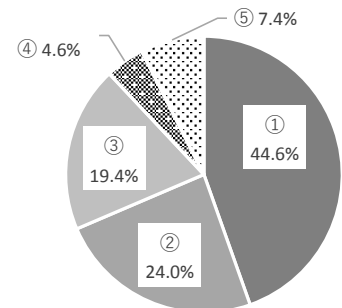
【③、④と回答した市町村の主な意見】

- ・減収世帯、特にひとり親世帯への支援はスピード感が必要
- ・学校の臨時休業に関して、子の世話をする保護者の休暇取得のための環境整備も対応が遅く内容不足
- ・行政対応のスピードについては難しい点もある

4. 今後、対策を行うにあたって、どのような対策に重点を置くべきと考えますか。

		回答数	割合
①	学校・公共施設の感染リスク低減	78	44.6%
②	学びと暮らしのセーフティネット	42	24.0%
③	学校のICT利活用	34	19.4%
④	文化・スポーツ活動への支援	8	4.6%
⑤	その他	13	7.4%

回答総数 175  
無回答 4



【「⑤その他」の主な内容】

- ・全て若しくは複数の対策が重点課題
- ・学力向上（時数確保、授業遅れ）対策、心理ケア（生活リズム、登校渋り）対策
- ・学習状況の把握と学習強化
- ・三密回避のため少人数学級の実現

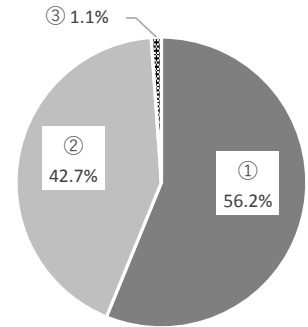
(iv) 北海道スタイルの実践

1. 新型コロナウイルス感染症との戦いが長期化している中、道では国が示した「新しい生活様式」の道内での実践に向け、「北海道スタイル」の実践を呼びかけておりますが、貴市町村の庁舎や公共施設、貴団体の施設等において取組を実践していますか。

		回答数	割合
①	「北海道スタイル」安心宣言を行っている	100	56.2%
②	一部施設など可能な範囲で取り組んでいる	76	42.7%
③	取り組んでいない	2	1.1%

回答総数 178

無回答 1



【「③取り組んでいない」と回答した市町村の意見】

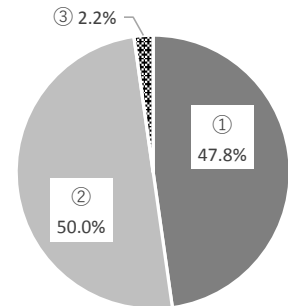
- ・ 現在準備中
- ・ 北海道スタイルに準拠した、町モデルの取組を実践

2. 「北海道スタイル」について、地域住民や事業者、施設利用者等に対して取組を実践していただくよう、広報誌やHPなどによりPRしていますか。

		回答数	割合
①	積極的にPRしている	85	47.8%
②	可能な範囲でPRしている	89	50.0%
③	特にPRは行っていない	4	2.2%

回答総数 178

無回答 1



【「③特にPRは行っていない」と回答した市町村の意見】

- ・ 「北海道スタイル」に準拠した市・町の取組を積極的に行っている
- ・ 住民に「北海道スタイル」という言葉は分かりにくく、感染予防の具体策についてPRを行っているものの「北海道スタイル」そのもののPRは行っていない
- ・ 北海道がPRを行っているため

【その他の意見】

- ・ 内容について具体的な発信をしているが、「北海道スタイル」の中に、北海道らしさとか、他の都市圏との違いを感じない

## V 全般

新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの道の対応や施策、情報共有のあり方等に関してご意見をお聞かせください。

### 【情報提供・共有や連携】

- ・道として全道で統一することと、市町村で判断することをもう少し明確にすべき。振興局単位で定期的な情報共有ができる場や仕組みの設定をしてほしい
- ・情報不足や情報遅延、事業の実施規模の不備など対応に苦慮した。今後、反省を生かして、情報を早く正確に道民へスムーズに届くよう市町村と密に連携をとってほしい
- ・週末の対策本部、知事会見で対応を示されると市町村の対応（住民への周知等）は困難
- ・道の対応策についてできる限り早く振興局との情報共有ができるよう努力してほしい。北海道の広い地域特性を踏まえ、市町村の実情を把握している各振興局との連携強化が重要
- ・施策が一方的で、振興局単位でのフィードバックや地域の実情を把握する機会を持つべき
- ・振興局、保健所と市町村との間に情報がダイレクトに伝わる仕組みがあればよい

### 【地域性に応じた対策】

- ・施策が道内一律なものになっている。感染者の地域状況等により、地域ごとの対応・施策も違っていいのではないかと。より地域との情報共有を図りながら、これから息の長いコロナ対策に応じていくべきだと考える。
- ・休業要請は、時期や地域の感染状況に応じた柔軟で細分化された要請の検討が必要
- ・住民への制限は、地域生活経済圏を考慮すべき
- ・全道一律ではなく、2次医療圏単位など、感染状況に応じて対応を行うべき
- ・警戒ステージ2以降の対応も振興局単位とすることを検討してほしい
- ・学校休校は、人口の多い都市部など感染拡大地域と町村部で一線を設けるべき

### 【検査体制、医療提供体制】

- ・地域医療の必要性を再認識しており、各市町村の医療機関の存在をしっかりと守ってほしい
- ・札幌圏域以外の地域のぜい弱な検査体制の是正と地方の医療拠点への支援を望む
- ・再流行に備え、地方におけるPCR検査体制や医療機関における発熱外来の設置など、住民が安心して受診できる体制を整備してほしい
- ・検査体制を拡充し、基幹病院から離れた地域やへき地の対応を充実してほしい
- ・有効なワクチンの開発と量産について国力を上げて急ぎ進めるよう国に対して強く要望してほしい

### 【感染者情報】

- ・個人情報等を理由に十分な情報提供がされないことで、住民の不安や噂、デマや中傷を助長し、結果として感染者と家族に大きな負担を与えている
- ・居住地を非公表とすることで公の対応（住民への注意喚起、公共施設の消毒等）が困難となり、住民の行政に対する不信感や批判につながっている。一貫して非公表とする取扱いに限界があり、公表の方法や内容の見直しを要望する
- ・守秘義務の徹底の下、市町村における適切かつ迅速な初動体制の確保を図るため、疑似症患者の発生時点からの情報提供を行うこと
- ・感染拡大防止の観点から、濃厚接触者情報等もう少し踏み込んで市町村に共有すべき

### 【今後に向けて】

- ・今後の長期戦を想定し、今回の検証により課題として浮かび上がった緊急事態宣言の発出時期や地域、休業要請と支援策の整合、地域と連携した医療体制の構築など、第3波に備え準備してほしい
- ・疎であることの優位性はコロナ禍の大きな武器であり、体験型観光に一層の付加価値を加える政策を進めてほしい
- ・道と連携して、新北海道スタイルを気を緩めることなく、継続して啓蒙、対策していくことが重要
- ・コロナ禍における道内医療体制の確立、新しい道民生活様式の定着化、観光・宿泊・交通の業態の進化など長期的視野を持った計画、対策が必要
- ・北海道の立ち位置を再検討し、国内サプライチェーンの確立や首都機能移転など、国に対して提案すべき

# 新型コロナウイルス感染症対策に係るアンケート調査結果【関係団体】

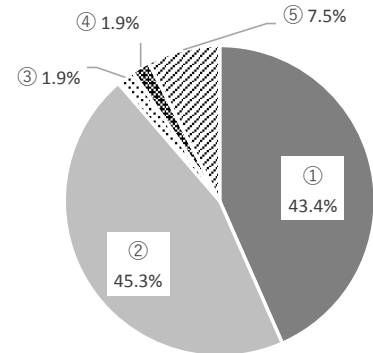
回答数	53
回収率	100%

## I 第1波への対応について

### (i) 道独自の緊急事態宣言

1. 道では、2月28日に道独自の緊急事態宣言を発出しましたが、その時期は妥当だったと思いますか。

		回答数	割合
①	妥当だった	23	43.4%
②	どちらかと言えば妥当だった	24	45.3%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	1	1.9%
④	妥当ではなかった	1	1.9%
⑤	どちらとも言えない	4	7.5%
		回答総数	53
		無回答	0



#### 【③、④と回答した団体の主な意見】

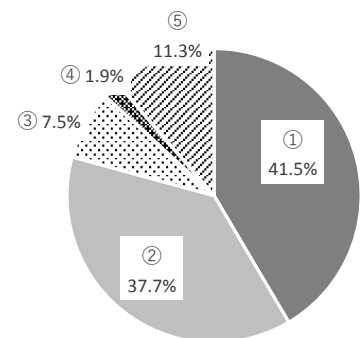
- ・緊急事態宣言発出による各方面への影響について確認してから発出すべきだった

#### 【その他の意見】

- ・準備をするためにはもう少し事前の通知を検討してほしい
- ・第一波の感染拡大は抑えることができたが、その後の状況が悪かった。解除の時期が妥当だったか疑問

2. 道独自の緊急事態宣言について、その内容や期間は妥当だったと思いますか。

		回答数	割合
①	妥当だった	22	41.5%
②	どちらかと言えば妥当だった	20	37.7%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	4	7.5%
④	妥当ではなかった	1	1.9%
⑤	どちらとも言えない	6	11.3%
		回答総数	53
		無回答	0



#### 【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・宣言の解除は連休後にすべきであった
- ・結果論となるが、宣言解除後に外出者が増え、感染者の急激な増加につながった
- ・施設の関係者や利用者に周知するための必要な時間等について配慮が必要だった
- ・宣言当初時から終期を設けるべきではなかった

#### 【その他の意見】

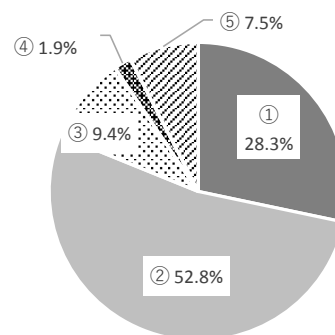
- ・宣言のあとの3連休も続けると良かった
- ・多くの道民が不安を感じる時期であったことから、適切な判断であった



3. 道独自の緊急事態宣言は、全道一律での対応としましたが、その対応は妥当だったと思いますか。

		回答数	割合
①	妥当だった	15	28.3%
②	どちらかと言えば妥当だった	28	52.8%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	5	9.4%
④	妥当ではなかった	1	1.9%
⑤	どちらとも言えない	4	7.5%

回答総数 53  
無回答 0



【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・ 地域によって感染者数が異なっていたため、地域毎の対応が望ましかった
- ・ ガイドラインの策定を優先し、市町村毎の対応で良かったのではないかと

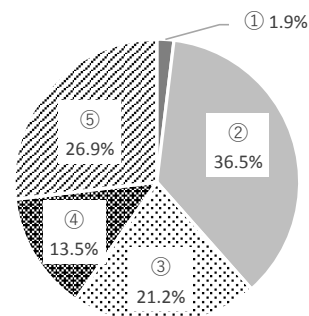
【その他の意見】

- ・ 初期段階の対応で仕方なかったが、今後は感染状況に応じて地域別に濃淡をつけた方が良いのではないかと
- ・ 感染者が発生していない地域も一律に対象とする必要があったのか検証が必要

4. 道独自の緊急事態宣言にあたり、事前の情報提供や宣言の考え方等について貴市町村・貴団体との情報共有・連携に関する対応についてどうお考えですか。

		回答数	割合
①	十分だった	1	1.9%
②	どちらかと言えば十分だった	19	36.5%
③	どちらかと言えば十分ではなかった	11	21.2%
④	不十分だった	7	13.5%
⑤	どちらとも言えない	14	26.9%

回答総数 52  
無回答 1



【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・ 事前の情報提供がなかった
- ・ 細部の対応について話し合いが行われていない
- ・ 卒業式など大切な行事が入っており、混乱する学校があった。保護者の問合せに応えられなかった
- ・ 市町村単位での学校運営に対する決定、裁量権が統一されておらず、対応に苦慮していた

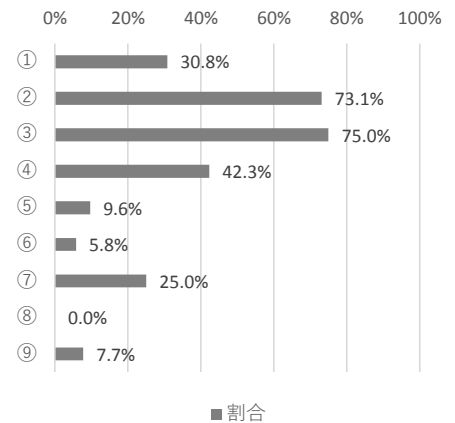
5. 道独自の緊急事態宣言により、地域の経済活動等に最も大きく影響を及ぼしたと思われるものについて最大3つまで選んでください。

【複数回答】

		回答数	割合
①	地元商店等の売上減少等地域経済への影響	16	30.8%
②	飲食店等の売上減少等外食産業への影響	38	73.1%
③	宿泊・交通事業者の売上減少等観光産業への影響	39	75.0%
④	医療・福祉等サービスの提供・利用への影響	22	42.3%
⑤	農林水産業の生産活動等一次産業への影響	5	9.6%
⑥	公共工事等建設事業への影響	3	5.8%
⑦	地域イベントの中止・延期等文化活動への影響	13	25.0%
⑧	特に影響はなかった	0	0.0%
⑨	その他	4	7.7%

回答総数 52

無回答 1

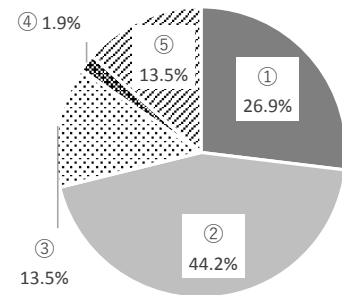


6. 道では、医療崩壊を起こすような急激な患者の増加が生じていないことや検査体制や病床確保など必要な体制強化が図られたと判断したことから、3月19日に道独自の緊急事態宣言を予定どおり終了しましたが、その判断は妥当だったと思いますか。

		回答数	割合
①	妥当だった	14	26.9%
②	どちらかと言えば妥当だった	23	44.2%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	7	13.5%
④	妥当ではなかった	1	1.9%
⑤	どちらとも言えない	7	13.5%

回答総数 52

無回答 1



【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・結果論であるが、収束したとの印象が強く、急激に人手が戻り、第二波につながった。
- ・連休で人手が多くなることに対応できるだけの医療提供体制の強化があったとは思えない

【その他の意見】

- ・連休後の様子を見てからにすべきだった。検査体制は全く不十分であり、当時のこの点は大きな課題であった

(ii) 学校の一斉休業要請

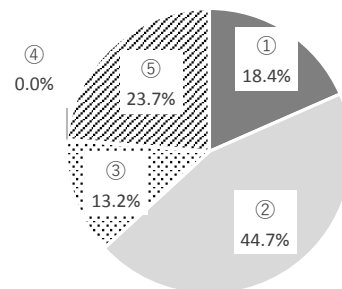
【道独自の学校休業要請（2月27日～3月4日）に係る設問】

1. 2月26日に道独自の小・中学校の一斉休業要請（2月27日～3月4日）を行いました。その判断は、妥当だったと思いますか。

		回答数	割合
①	妥当だった	7	18.4%
②	どちらかと言えば妥当だった	17	44.7%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	5	13.2%
④	妥当ではなかった	0	0.0%
⑤	どちらとも言えない	9	23.7%

回答総数 38

無回答 15



【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・ 地域によって感染状況が異なっており、地域毎の対応が望ましかった。
- ・ 数日間の準備期間が必要であった

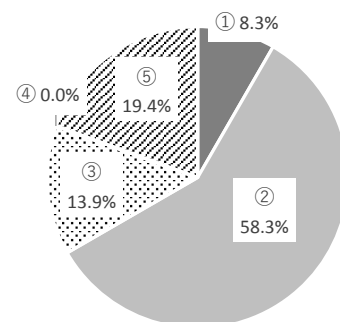
【その他の意見】

- ・ 子育てしながら働く方への影響も踏まえて、年代別の感染状況を見て、事前の周知が大切だった。
- ・ 小中学生について小児科医の意見を聞いて判断してもよかったのではないか
- ・ 高等学校は対象としなくて良かったのか検証が必要

2. 当初決めた道独自の小・中学校の一斉休業要請の期間（2月27日～3月4日）について、どのようにお考えですか。

		回答数	割合
①	妥当だった	3	8.3%
②	どちらかと言えば妥当だった	21	58.3%
③	どちらかと言えば妥当ではなかった	5	13.9%
④	妥当ではなかった	0	0.0%
⑤	どちらとも言えない	7	19.4%

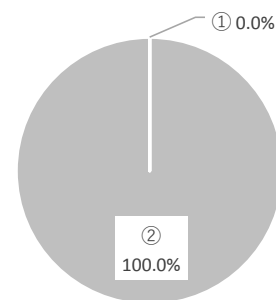
回答総数 36  
無回答 17



※上記で③または④（「どちらかと言えば妥当ではなかった」、「妥当ではなかった」）と答えた場合において、道独自の小・中学校の一斉休業要請の期間（2月27日～3月4日）について、どのようにお考えですか。また、その理由についてお教えてください。

		回答数	割合
①	長かった	0	0.0%
②	短かった	3	100.0%

回答総数 3  
無回答 2



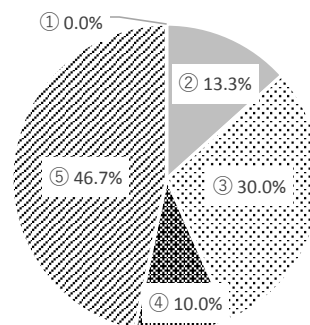
【主な理由】

- ・発症確認のため、10～14日間は必要ではなかったか

3. 道独自の小・中学校の一斉休業要請にあたり、事前の情報提供や要請の考え方等についての貴市町村・貴団体との情報共有・連携に関する対応についてどうお考えですか。

		回答数	割合
①	十分だった	0	0.0%
②	どちらかと言えば十分だった	4	13.3%
③	どちらかと言えば十分ではなかった	9	30.0%
④	不十分だった	3	10.0%
⑤	どちらとも言えない	14	46.7%

回答総数 30  
無回答 23



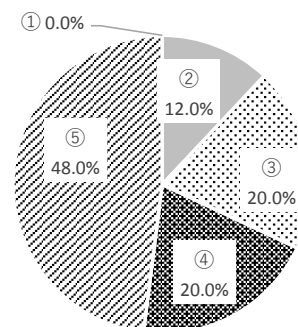
【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・事前の情報提供がなかった
- ・公立学校中心の対応であり、私立学校に対しても一定の方針を示すべきだった
- ・子どもの預け先等も準備できず、家庭内での調整が大変であったという意見が多数
- ・スクールバスの運休など多大な影響があるにもかかわらず事前の情報提供が全くなかった
- ・保護者がどのように対応すべきか十分な情報が得られていなかった

4. 道独自の小・中学校の一斉休業要請にあたり、事前の情報提供や要請の考え方等についての、市町村教育委員会との情報共有・連携に関する対応についてどうお考えですか。

		回答数	割合
①	十分だった	0	0.0%
②	どちらかと言えば十分だった	3	12.0%
③	どちらかと言えば十分ではなかった	5	20.0%
④	不十分だった	5	20.0%
⑤	どちらとも言えない	12	48.0%

回答総数 25  
無回答 28



【③、④と回答した団体の主な意見】

- ・事前の情報提供が遅い
- ・事前の準備期間が必要だった
- ・市町村教委への連絡前に報道され、保護者からの問合せに学校が混乱した
- ・公立学校中心の対応であり、私立学校に対しても一定の方針を示すべきだった
- ・保護者である医療関係者が休暇せざるを得ないなど業務に支障があった

【全国的な学校休業要請を含む一連の学校休業要請に係る設問】

5. 道独自の小・中学校の一斉休業要請後、すぐに全国的な学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）の休業要請が行われたことにより、最も大きく影響を及ぼしたと思われるものを最大3つまで選んでください。

【複数回答】

		回答数	割合
①	児童・生徒の心理的への影響	17	44.7%
②	児童・生徒の学びへの影響	26	68.4%
③	学校行事への影響	18	47.4%
④	教員の業務量や勤務態様への影響	7	18.4%
⑤	保護者の養育への影響	20	52.6%
⑥	地元関係企業等（給食、学童保育等）への影響	12	31.6%
⑦	特に影響なし	1	2.6%
⑧	その他	4	10.5%

回答総数 38

無回答 15

